

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-	-
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・イベント等で来客が増加してきている。夏物家電が動き出してきており、特に、エアコン、冷蔵庫が動いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・暑い日が続くようになり、いろいろなコンビニアイテム、特に、冷たい飲料を中心に伸びてきている。今年は梅雨明けが早かった影響も加わり、多少追い風になっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・冬季の輸送遅延の影響も解消し、堅調な受注状況と併せて、新車販売は上向いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・前月まで3か月ほど前年より落ち込んでいたが、若干上向いてきたので少しほっとしている。フリーの客が増えているのも良い傾向である。
		都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・例年、宿泊実績の悪い6月が、過去最高に順調である。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・コンサートイベントやキャンペーンなどの集客施策を実施し、3か月前と比べて今月の来客数の動きはやや良くなっている。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・企業主催や旅行でのゴルフコンペが増えてきた感がある。
		商店街（代表者）	単価の動き	・当店は、学校の子供達を対象にした販売方法に切り替えている。そのため、時期が来ると追加のウェアや靴などが動くので、感謝している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・前年のイベント関連の売上を除くと、来店客の売上は横ばいである。
		百貨店（売場担当）	それ以外	・今月、婦人服の売上が良い理由は、単純に前年7月だったクリアランスセールが前倒して6月からだったためである。また、初めて開催した動員催事の展示、物販の大成功により、大きくプラスとなっている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・空梅雨状態で来客数は安定している。ただし、水産物は苦戦しており、青果物は相場が安いいため、変わらない。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・客単価は上がっているものの、来客数が落ちており、横ばい状態が続いている。
		スーパー（経営者）	それ以外	・月末の金曜日朝でも市場全体の雰囲気停滞しているように感じる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・下げ止まりといえるか分からないが、数値は低いレベルで維持の状態が続いている。天候の影響により、多少の増加は見込まれるものの、数字を大きく変化させる状況にはない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・集客数が年々減少傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・車検入庫数は目標に達し、一般修理もプラスとなっている。しかし、車両販売、特に新車は低迷しており、中古車も価格の安い物を求める客が多い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来店客は日ごとに差があり、一定していない。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・来客数に動きはあると感じるが、売上に比例してこない。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・今月に入り、売店や飲食の売上はおおむね堅調だが、宿泊、運輸部門の来客数が伸びない。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・県知事選挙が終了し、少しずつ動きが出てきている。しかし、元々が低調な推移であったため、回復したというよりも元に戻っているだけである。	
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内では大阪北部地震が発生し、西への動きが鈍くなっている。海外旅行は大きな変動がなく、例年並みの水準である。しかし、4月頃の動きとは若干変わってきているようで、国内、海外旅行共に、動きが出てきている。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・時間的にみると、午前中の動きは良いが、午後は悪くなり、夜は日によるものの、動きが悪い。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップで日本が急に盛り上がってきたものの、客の動きは鈍い。	
	美容室（経営者）	それ以外	・今月後半から好天の日が続き、気温の上昇も早まり、高温続きで、髪を短くしようとする客も徐々に増えている。男性客も髪を短くして、身なりを良くしようという意識が高まってきている。また、今月は婚礼の仕事がほとんどない。	

	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・毎年6月は葬儀の件数が少なくなる。
	住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・別荘見学者数が一段落している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・毎年、夏の小物は簡単で安い商材は売れるが、手に取る客は多いものの、なかなか買上に結び付かない。他の商材も販売に結び付けることは容易ではない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きがすこぶる悪い。修理や細かい業務は発生するが、商品購入には結び付いていかない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・人の流れが若干変わったせいか、このところ来客数が大分減ってきており、それがそのまま売上に影響し、ちょっと厳しい状態である。
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今春は例年よりも暖かく桜の開花なども早かったため、客の動きはやや良かったが、それも一段落して、現状はやや悪くなっている。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・計画物件は多くあるものの、実施に入れる物件は少なくなっている。
	× 衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・同業者と話をして、「取引先の廃業などで仕入先が変わり、品ぞろえがうまくいかない。仕入単価、縫製工賃の高騰など、厳しい状況が続いている」とのことである。
	× 一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の問題だけでなく、客も無駄な部分が多いため、客単価が上がらない。
	× スナック（経営者）	競争相手の様子	・近隣で店舗が空くたびに、競争相手が出店しているような状態で、単なる努力だけでは、上手く回らないような気がしている。
企業 動向 関連	-	-	-
(甲信越)	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・梅雨時に、高温で晴天が続いたために、客の他の酒類への転換があり、ワインは伸び悩んでいる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・相変わらず、受注、販売量共に低迷している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事の確保はできている。相変わらず、部品の納入は悪い。他の業態も同様に、部品の確保に苦慮しているようである。
	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、国内の宝飾マーケットは低迷しており、卸部門は苦戦している。在庫の滞留で、仕入ストップの会社が多い。小売催事は集客難ではあるが、客単価が上がって辛うじて前年並みを確保している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築するには資金的な面もあり、まだ、それほど古くはないので、必要な場所だけリフォームする客が多い。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では安定した需要が続いているものの、個人消費の弱さが続いている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光業は順調に推移している。これからトップシーズンを迎え、売上も上昇傾向となる。製造業は、人手不足を背景に厳しい状況が続いている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出荷量は94.2%である。百貨店や量販店では、梅雨に入っても降雨が少なく、売上は平年並みで、傘や靴などの雨具は、やや少なめと話している。
	食料品製造業 （製造担当）	競争相手の様子	・販売点数が落ちている。
	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず前年割れが続いている。業界全体ではパイが増加しているとのことだが、恩恵を受けていない。
	×	*	*
雇用 関連	-	-	-
(甲信越)	人材派遣会社 （営業担当）	雇用形態の様子	・正社員として採用されても、職安提示の条件と相違があるので、変わらない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・募集をしても応募がほとんどない飲食店では、人材派遣会社から、短期でパート、アルバイトを受け入れて、とりあえず、その場しのぎの対応を考えている店もある。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・広域展開や施設の新規開設などの理由から、建設、卸、小売、医療、福祉の求人増により、新規求人は、前年同月比で10.5%の増加となっている。一方、新規求職においては離職者は減少したものの、在職求職者が増加したことにより、前年同月比で1.1%の増加であるが、求職者の動きは鈍く、求人充足は低迷している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が3か月連続で減少しているものの、高水準を維持している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が低下しており、新規求人数も減少している。
x	-	-	-